

4月手賀沼探鳥会 行事報告

日 時： 2019年4月14日(日) 9:00～12:00

曇り 微風 17°C

概 要： 天気予報通り、曇天でしたが、時々陽も差す探鳥日和になりました。

“平成最後”の手賀沼探鳥会は、参加者40名、車10台という大所帯です。

ルートは、いつもの順に北千葉導水第二機場からで、到着し探鳥を始めると直ぐに上空をミサゴが飛翔してくれたかと思うと、葦に止まるカワセミ、羽音が聞こえるぐらい眼前を悠々と飛ぶアオサギ、鉄塔の天辺にはハヤブサなどの姿に初参加の方々からも歓声があがりました。周囲は、遅咲きの満開の桜とびっしりと咲くレンギョの黄色が目に映えました。

次いで、ヒドリ橋に向かうお目当ては、ワンドにいるはずのシマアジでしたが、一昨日の下見時に3羽確認し、昨日の情報では4羽居たという姿が、今日は全く見当たりません。残念至極です。気を取り戻してワンド内のコサギなどを目で追っていたら、「コチドリ！」の声に振り向くとすでに田んぼの上空を鳴きながら飛去する後ろ姿、一瞬の出会いで少数の方しか気付かれない模様でした。

道の駅でトイレ休憩後、ハス田を急遽省略し、お立ち台に賭けて向かう。理由は、染井入落の残り少なくなったヒドリガモ、お立ち台右手の田んぼでのヒクイナ、タシギとの出会いが期待できたからです。下見時には、独特のキョッ、キョッ・・・という抑揚のある鳴き声を聞いていたのですが、どうやらその期待に応えてくれたようで、多くの皆さんが楽しんでいました。(私は、染井入落へ先行中でした)

総じて、猛禽類では、ミサゴ、ハヤブサ、オオタカ、サシバ、チョウゲンボウに恵まれましたが、渡り前のカモ達は、流石に少数になり、コガモ、ヒドリガモ、カルガモ程度で、いよいよ寂しい沼水面でした。加えて、畠の真ん中をゆっくりと歩くキジ、あちこちで聞こえるウグイス、ヒバリの囀りが“春到来”を物語っていました。

認めた鳥： キジ、コブハクチョウ、ヒドリガモ、カルガモ、コガモ、カツブリ、カンムリカツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、ヒクイナ、バン、オオバン、コチドリ、タシギ、セグロカモメ、ミサゴ、オオタカ、サシバ、カワセミ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計42種

参加者： 40名

担当： 松本勝英